

「2015年3月期決算説明会」主なQ&A

【ホールディングカンパニー制について】

Q：ホールディング（HD）カンパニー制へ移行する目的は何でしょうか。

A：今後、大きな変革期を迎える電力市場において、当社が引き続き福島原子力事故の責任を果たすとともに、低廉で安定的な電力供給を維持していくためには、各事業部門がそれぞれの特性に応じた最適な事業戦略を適用し、東京電力グループ全体の企業価値向上に取り組むことが不可欠であります。

このため、電力自由化後の新たな事業環境に柔軟かつ迅速に適応できるよう、3つの事業部門を分社化し、HDカンパニー制に移行することにより、持続的な再生に向けた収益基盤を確立し、東京電力グループ全体として福島原子力事故の責任を全うするとともに、福島復興に向けた原資の創出とグループ全体の企業価値の向上をめざしてまいります。

【新・総合特別事業計画の見直しについて】

Q：新・総合特別事業計画をいつ改訂するのでしょうか。

A：新・総合特別事業計画は原子力損害賠償・廃炉等支援機構（以下、「機構」）と共同で策定しており、機構とともに改訂内容の検討を行っているところでありますが、改訂時期については現時点で未定であります。

【JERA について】

Q：JERA の設立により、2016 年 3 月期の燃料費をどの程度削減できる見込みでしょうか。

A：既契約の価格交渉時期や契約満了時期など様々なタイミングを捉えて、燃料費の削減に努めてまいります。新・総合特別事業計画では燃料単価を 2 割低減させる目標を掲げておりますが、包括的アライアンスにより、燃料上流・調達から発電に至るまでのバリューチェーン全体の最適化に努めてまいります。

以 上